

越前焼のサンドブラスト加飾製品

越前焼工業協同組合（越前町）

平成20年度 技術指導、依頼試験、機器使用

問合せ担当者 眞木教雄



製品例：記念品用平皿

背景と経緯

越前焼工業協同組合は、従来の花器や食器だけではなく贈答品の市場に進出するため、新たに越前焼の土味を活かした加飾製品の開発を目指し、福井県工業技術センターに技術相談しました。そして窯業指導所の指導で製品開発を行い、サンドブラスト加工（細かな砂をぶつけて表面を削る加工方法）を施した陶磁器製品を開発しました。

成果と製品化の状況

陶磁器の表面は硬くサンドブラスト加工には不向きでしたが、素焼き時に加工を施すことで容易に加工することができるようになりました。その後、製品のサンドブラスト加工も容易にできるようになり、越前焼の表面色（赤色か黒色）と内部色（灰色）の違いを活用した製品を製造できるようになりました。

また、凹部に釉薬上絵や塗料などで色を付けることを検討し、製品上に文字やCGを転写した製品を開発できました。サンドブラストで加工した製品は、平成20年8月から販売を行っています。



製品例：表彰用盾